

## 募金の使いみち ～共同募金の助成金を受けた団体にお聞きしました～

### 鹿児島市視覚障害者協会 ※障害者の生活及び福祉などに関する研修事業に助成

#### ～外出のきっかけづくりに～

視覚障害者協会では、視覚に障害のある会員のみなさんを対象に、豪雨、土砂災害のほか桜島の大噴火を想定した防災研修会、スニーカーなどのシューズ型の履物に補助器具を取りつけ、振動を頼りに歩行を補助する体験会等を開催しています。

同協会の武元会長は、「目が見えづらいと、周囲の状況を視覚で把握できないため、火災や地震などの非常時に避難経路を確認できないなど危険が高まる可能性がある。『外出しても大丈夫なんだ』と思ってもらい、社会参加のきっかけづくりができれば」と話されていました。



防災研修会

#### ～研修会などに参加した方の声～

- ・避難経路を確認することで、指定福祉避難所へ直接避難できるようになりました。他の会員さんとの交流もでき、有意義で楽しい時間でした。
- ・歩行補助器具の体験会では、スマホのアプリやデバイスで、視覚障害者の日常生活を助けるものが多く開発されていることを知りました。できることが少し増えたと感じ、嬉しい気持ちになりました。



屋外歩行体験会

### NPO法人 グッジョブサポート ※生きづらさを抱えた方向けの余暇活動支援事業に助成

#### ～楽しむ場づくりに～

NPO法人 グッジョブサポートは、仲間や活動拠点を作れない環境にある発達障害の方、不登校の子どもたち、その家族を対象に楽しむ場づくりを提供しています。

楽しむ場づくりとして、「漫画・アニメの会」、「鉄道の会」など様々な活動をしており、これらの会がコミュニケーションが取りづらい子どもたちやその保護者にとって、学校でも家でもない第3の居場所として、安心して集える場となり、楽しむことはもちろん協調性を高めることも目的としています。

同法人の宮之原理事長は「同じ感性や悩みを共有することで、うつ病や引きこもりなど二次的な精神障害へのリスクを減らし、社会と繋がるきっかけの場になればと活動している。地域に根差した活動として、必要とする多くのひとたちに認知させていきたい」と話されていました。



お気に入りの車両をパチリ！

#### ～活動に参加した方の声～

- ・「鉄道の会」に参加して、同じ趣味の人と語り合えるのがうれしいです。この日があると他の日もがんばろうと思えます。
- ・子どもが不登校で出かける先がなかったのですが、活動に参加して、毎月楽しみに通っています。このような活動があってよかったです。

#### 担当者の感想

2つの団体にお話を聞く中で、どちらからも「赤い羽根共同募金のおかげで活動することができている」とのお話があり、感謝されました。

これからも、多くの市民の皆さまが共同募金運動にご協力いただけるよう担当者として頑張っていきたいと思えます。

